

会員各位

茨城県歯科医師会
会長 森永和男

シンポジウムのご案内

残暑の候 先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。8020 運動の成果により、高齢者の残存歯数は増加し、あと 10 年以内に約半数の方が 8020 を達成するといわれています。しかし、無歯顎者では心配のなかった歯周病が増え、その対応が問題となっています。精神状態、全身状態の悪化、セルフケアの衰え、口腔乾燥など加齢による問題を抱えることの多い高齢者への歯周治療は、青年期、成人期の患者とは違う対応が必要になっています。歯周病が全身の健康に与える影響を考えると、どのような状態で歯を残し、生涯良好な口腔機能を維持し、健康寿命の延伸に寄与するには、どうしたらよいのでしょうか。老年期に入る前からしっかりとメンテナンスを受けることは重要であることは言うまでもありませんが、メンテナンスをしてきた患者さんが通院できなくなったらどうすればよいのでしょうか。超高齢社会を迎えて歯周治療のあり方を、第一人者であるお二人の先生を迎えてお話させていただきます。

この機会を見逃すことなく、多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

記

シンポジウム「高齢者の歯周病治療をめぐる」

日時： 平成 26 年 11 月 2 日（日曜日） 10:00～16:00

場所： 茨城県歯科医師会館 3 階講堂

講演： 【講演 1】超高齢社会の歯周病治療

吉成伸夫 先生（松本歯科大学歯科保存学講座）

【講演 2】老年歯周病学の夜明け 一命を支える歯周基本治療と専門的口腔ケア

米山武義 先生（静岡県駿東郡 米山歯科クリニック開業）

【ディスカッション】進行： 茨城県歯科医師会学術委員長 杉田裕一

募集人数： 100 名

参加費： 1,000 円（昼食代込）

申込方法： 9 月 10 日（水曜日）午前 9 時 30 分より申込を受け付けます。詳細は 3 ページを参照下さい。
申し込みは受付順となります。定員になり次第締め切らせていただきます。

事前質問： 今回のシンポジウムに関連する事前質問を募集いたします。下記学術委員会メールアドレスまでお願いします。

ibagakujyutu@gmail.com

問い合わせ先：学術委員長 杉田裕一 Phone：0293-24-3911, e-mail：ibagakujyutu@gmail.com

申込用紙は 4 ページ目にあります

◆ 講演抄録 ◆

◇ 演題1 ◇ 超高齢社会の歯周病治療

松本歯科大学歯科保存学講座 吉成伸夫

現在、我が国の歯周疾患罹患率には改善の兆しが現われ、8020者率も38%に達しています。最近では、新規歯周組織再生療法の開発や歯周病と全身との関連性に対するエビデンスも増加しており、多くの日本人が自分の歯で一生を終えることのできる環境が徐々に整いつつあるように思われます。

一方、年齢別人口では、日本は1970(昭和45)年に65歳以上の高齢者の割合が7%を越え‘高齢化社会’に突入し、1995(平成7)年には14%を越え‘高齢社会’となり、2007(平成19)年には21%を越え、ついに‘超高齢社会’となりました。現在では25%を越え、世界でも高齢化のトップにあり、2050年頃までこの増加傾向が続くと予測されています。

これらのことは、歯周病治療を受ける患者層も急激に高齢化していることを意味し、将来の高齢期における要介護状態予防のための、中年期の生活習慣病予防(疾病予防)としての歯周病治療の必要性、重要性はますます増加するものと思われます。

国民の歯周疾患の罹患率に改善の兆しが現われているのとは逆に、高齢者における歯周病罹患率、重症度が増加していること、また、この年齢層ではライフスタイルが多様化しており、個々に応じた対応が必要であることより、我々歯科医師は従来の歯科医療を発展させ、現代日本の超高齢社会と高齢者の健康水準に合わせ、科学的研究結果にもとづいた高齢者にふさわしい歯科医療を提供する必要があります。

本シンポジウムでは「超高齢社会の歯周病治療」というタイトルで、わが国の歯科医療の吃緊の対応課題に対して、何を考えて、何ができるか、また何をすべきか、皆様とともに考えてみたいと思います。

◇ 演題2 ◇ 老年歯周病学の夜明け 一命を支える歯周基本治療と専門的口腔ケア

米山歯科クリニック 米山武義

超高齢社会を迎え、歯科医療を取り巻く環境は著しく様変わりしております。あたりまえのことですが、誰もが、人生の最後には医療と介護のお世話にならなければなりません。歯科医院にメンテナンスで通っている患者さんも今後、いろいろな事情で家庭を離れ、住み慣れた地域の中で支えていかなければならないケースも増えてくるでしょう。その際、最も重要なキーワードは、「歯周基本治療と基本的口腔リハビリ」の実践です。

私は岡本浩先生のご紹介でスウェーデンに留学し、リンデ、ニーマン、アクセルソン先生に御指導をいただきながら、縁があつて老人歯科医療という分野に30年余り携わってきました。しかし最近、高齢者の基本歯周治療が全身健康の維持やQOLの向上のためにも重要であることがわかり、歯周病をベースに日常臨床に携わっている開業医が、専門的口腔のケアの先頭に立つべきであるという認識を持つにいたりました。そして歯周基本治療と専門的口腔ケアの間を埋める努力が超高齢社会における歯科の存在を確かなものにしてくれると固く信じるようになりました。本講演では、時代の要請である老年歯周病学の概念と実践について、お話したいと思います。

◆ 吉成伸夫 先生 ご略歴 ◆



1986年 愛知学院大学歯学部卒業
 1990年 愛知学院大学大学院歯学研究科修了
 1990年 愛知学院大学歯学部助手 (歯科保存学第三講座, 歯周病科)
 1995年 愛知学院大学歯学部講師 (歯科保存学第三講座, 歯周病科)
 2001-2002年 University of North Carolina at Chapel Hill 留学
 2006年 松本歯科大学教授 (歯科保存学第一講座, お口の健康科科长)
 2008年 松本歯科大学副病院長
 2010年 松本歯科大学副学長
 2013年 松本歯科大学副病院長
 2014年 松本歯科大学教授 (歯科保存学講座:
 講座統合に伴い名称変更, お口の健康科科长)
 現在に至る.

◇ 役職 ◇

日本歯周病学会常任理事
 日本歯科保存学会理事
 International Association for Dental Research 会員
 American Academy of Periodontology 会員
 International Academy of Periodontology 会員
 日本歯周病学会専門医・指導医
 日本歯科保存学会認定医・指導医
 日本レーザー歯学会認定医・指導医
 日本老年歯科医学会専門医・指導医

◆ 米山武義 先生 ご略歴 ◆



昭和 54年 日本歯科大学歯学部卒業
 昭和 54年 同大学助手(歯周病学教室)
 昭和 56-58年 スウェーデン王立イェテボリ大学歯学部留学
 スウェーデン政府奨学金給費生
 平成元年 伊豆逋信病院歯科 (非常勤)
 平成 2年 静岡県駿東郡長泉町 米山歯科クリニック開業
 平成 6年 日本歯周病学会 専門医
 平成 8-10年 静岡県歯科医師会 公衆衛生部員
 平成 9年 歯学博士
 平成 10年～ 日本老年歯科医学会 理事
 平成 16年 医学博士
 平成 17年 浜松医科大学非常勤講師
 平成 20年 日本老年歯科医学会 指導医、認定医
 平成 24年 日本老年歯科医学会 専門医

◇ 著書・共著 ◇

「新しい介護」	講談社	共著
誤嚥性肺炎を予防する口腔ケア	株式会社オーラルケア	共著
口腔ケアガイドブック	(財) 口腔保健協会	編集, 共著
口腔と全身疾患	クインテッセンス出版	共著
治療学 「高齢者肺炎」	ライフサイエンス出版	共著

◆ 申し込み方法 詳細 ◆

9月10日(水曜日)午前9時30分より申込を受付開始

【茨歯会会員・会員歯科医院勤務者】

茨歯会事務局へ別紙申込用紙を用い FAX (029-253-1075) にて申し込みください。後日、申し込み確認書を事務局より送ります。シンポジウム当日、受付にて参加費をお支払い下さい。10月22日以降のキャンセルで次の参加者が見つからない場合、参加料をご負担いただきます。

【会員外】

茨歯会事務局へ別紙申込用紙を用い FAX (029-253-1075) にて申し込みの上、別紙申込書を添えて参加費を現金書留にて茨歯会事務局までお支払い下さい。Fax 到着後 10 日以内に正式申込(入金)が確認できないときにはキャンセルと見なし、キャンセル待ちの方がいる場合にはその方に連絡をいたします。後日、事務局より申し込み確認書を送ります。

11月2日(日曜)シンポジウム「高齢者の歯周病治療をめぐって」参加申込用紙

シンポジウム「高齢者の歯周病治療をめぐって」に参加したく参加費(1名につき1,000円:下記注)を添えて申し込みます。

平成26年 月 日

・氏名 _____

・所属(勤務先名) _____

・住所:〒 _____

・Phone: _____ ・Fax: _____

・e-mail: _____

希望連絡方法(Fax・e-mail) ←○を:ご希望以外(電話など)の方法を使用することもあります。

送付先:〒310-0911 水戸市見和2-292 茨城県歯科医師会 事務局

FAX: 029-253-1075

(注)・会員・会員歯科医院勤務者はFAXにて申し込み当日支払い

・会員外は参加費を添えて申し込み